DJ-CH20/27 全機種共通　セットモードについて

DJ-CH20/27　特定小電力トランシーバーは、各種機能を用途に合わせてより使いやすくするためにカスタマイズすることができます。ここでは説明書でご説明しきれていない機能の内容について、詳しくご説明致します。
【セットモードへの入り方】
通常の通話モードに入るよう電源を入れて、キーロックが掛かっていれば解除します。ＦＵＮＣキーを押しながらＧＲＯＵＰキーを押して、ＧＲＯＵＰキーから指を放すと bt-L1 のような文字が表示されていれば、ＦＵＮＣキーの指も放します。セットモードに入りました。

- 次の項目に移るにはＧＲＯＵＰキー、前の項目に戻るにはＦＵＮＣキーを押します。
- ＣＨの▲/▼キーを押して、設定値を選びます。
- ＰＴＴキーを押すと、新しい設定値に更新して通話モードに戻ります。

1: 電池選択機能「bt」

(初期値 Li)

使用する電池によってバッテリー警告マークを正しく表示させるためにお使いになる電池の種類を選択してください。この設定が正しくなくても、減電池表示の精度以外に不具合は起きません。

設定値　Li／AL
Li　：リチウムイオンバッテリー
AL　：単四形アルカリ乾電池

2: コンパンダー機能「CP」

（初期値 OFF）
コンパンダー機能を搭載するトランシーバー間で通話する際は、ON を選ぶと音声通話の明瞭度を上げることができます。（声が乗っていない信号を受信中にイヤホンなどを使って聴いていると気になる「サー」というバックノイズを大幅に低減する効果があります。）

設定値は ON/OFF です。
注）コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合には、逆効果になります。ＯＦＦでお使いください。

3: VOX機能「vo」

（初期値 OFF）
ＰＴＴキーを押さずに、マイクに音声が入れば送信、音声が無くなれば受信に切り替りかえてハンズフリーでの通話ができます。
注）・VOX 機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
・VOX 感度を「Lo」に設定しても音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はご使用になれません。
・VOX 機能を使うと、通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れる場合があります。話し出す前に、「はい」のように短い言葉をハッキリと発音して送信状態にしてから話し出すなど工夫してみてください。

設定値　OFF/Lo/Hi
Lo　：VOX 感度 小（大きな音で反応します。）
Hi　：VOX 感度 大（小さな音で反応します。）
ＶＯＸ運用を止めて手動操作（ＰＴＴ）に戻るにはＯＦＦを選びます。

4: 秘話機能「SC」
（初期値 OFF）
秘話機能を ON にすると、非常にセキュリティレベルの低い、簡単な秘話がかかります。弊社製トランシーバー間で秘話機能をＯＮにしたトランシーバー間では通話できますが、他社製のトランシーバーで受信するとモガモガと鼻につまった声になり通話の内容が聴き取れなくなります。

設定値は ON/OFF です。
注）弊社製トランシーバーや市販の受信機で簡単に解除できる秘話です。セキュリティレベルに一切の保証はありません。

5: ビープ音量「bP」
（初期値 1）
本体から鳴るビープ音（操作音、ベル音など）の音量を変更することができます。

設定値　OFF/1～5、数字が大きいほど音が大きくなります。
「oF」を選択すると、すべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）が鳴らなくなります。
注）・耳を痛める可能性がありますので、イヤホンを使用した状態でビープ音量を大きくするときはご注意ください。

6: エンドピー機能「EP」
（初期値 ON）
PTT キーを放した時に送信終了を意味する「ピッ」というエンドピー音を鳴らすかどうかの設定です。
設定値は ON/OFF です。

7: ベル機能「bL」
（初期値 OFF）
呼び出されたことを表示とベル音でお知らせする、着信表示機能です。ＯＮを選ぶと、着信があるとピピ、とビープ音が鳴り、ベルのマークが表示されます。その後、通話が続いている間は鳴りませんが、約 10 秒間通話が途切れると、新たに着信表示動作を行います。
設定値は ON/OFF です。

8: ランプ機能「LP」
（初期値 5 秒）
ディスプレイ照明を点灯させる機能です。初期状態では「5」秒に設定されており、ＰＴＴ以外に何かキー操作をすると、自動的に 5 秒間液晶表示部の照明が点灯します。

設定値　OFF/5 秒/ON
注）ディスプレイ照明を ON（常時点灯）に設定すると、電池の消耗が早くなります。OFF にすると、照明は点きません。

9: PTTホールド機能「PH」
（初期値 OFF）
PTT キーを一度押すと送信を継続、もう一度 PTT キーを押すと受信待ち受け状態になります。この機能を ON にすると送信中に PTT キーを押し続けていなくても済むので、一回の通話で話す内容が長くなるような現場では、これをＯＮにしておくと便利に使えます。キーロック機能が無いマイクアクセサリーでロックの代用として使うこともあります。

設定値は OFF/ON です。
注）PTT ホールド機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

10：PTTオン／オフ機能「Pt」
（初期値 ON）
受信専用で使用する場合に、送信を禁止する機能です。PTT キーを押しても送信できません。通話は聞いておいて欲しいけれど、返信は不要なユーザーが居られるようなときに使います。

設定値は OFF/ON です。
注）このような受信専用端末を無線用語では「受令機」と呼びます。

11：中継器接続手順変更機能「At」・・・DJ-CH27 のみ
（初期値 2）
中継動作自動接続手順を、使用する中継器に合わせる機能です。中継器を使用しないとき（単信用 20ｃｈの範囲）は、どの設定でも問題なく使えます。

設定値　OFF/1/2
　oF　：自動接続手順解除
　1　：DJ-R20D、DJ-R100D の中継器モードを使うとき。
　2　：中継専用機 DJ-P10R、DJ-P11R、DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R を使うとき。

以上